



発行所  
北海道高等学校体育連盟  
バレーボール専門部  
発行責任者 杉木 恵  
編集責任者 高田 志朗  
平成24年3月15日 発効

## 第64回 北海道高等学校総合体育大会 バレーボール競技会

期日：平成 年6月14日(火)～17日(金)

当番校：北海道旭川東高等学校

男子優勝

女子優勝

### 札幌藻岩高校

(初優勝)

### 札幌山の手高校

(3回目の優勝)

男子(21チーム)

優勝 札幌藻岩  
準優勝 札幌第一  
3位 とわの森  
4位 東海大四

ベスト8

白樺学園 豊富  
旭川西 恵庭南

ベスト16

函館工業 函大有斗  
倶知安 釧路湖陵  
北見工業 旭川工業  
浦河

予選グループ戦

静内 弟子屈  
岩緑陵 斜里  
旭川東



札幌藻岩高校↑

↓札幌山の手高校



女子(26チーム)

優勝 札幌山の手  
準優勝 札幌大谷  
3位 旭川実業  
4位 札幌北斗

ベスト8

旭大高 虻田  
帯広南商 国際情報

ベスト16

岩見沢西 釧路明輝  
帯広三条 函館西  
苫中央 啓北商業  
旭川東 中標津

1回戦

函館大妻 東海大四  
遠軽

予選グループ戦

登別大谷 函館商業  
士別翔雲 天塩  
倶知安 網走南丘  
深川西

#### 【男子講評】

男子は「札幌藻岩高校」が念願の初優勝を飾りました。長年にわたり北海道の高校男子の強化に携わっていた鈴木監督の優勝は多くの人たちに受け入れられたようです。

札幌・帯広・旭川・函館といった都市部の高校が上位を占める中で「豊富高校」のベスト8入りは素晴らしい結果でした。代表最有力で2連覇を狙っていた「とわの森」は「札幌第一」の高さとパワーの前に代表権を失いました。

代表権をとった札幌藻岩・札幌第一の2チームは全国大会で決勝トーナメントに進出しました。女子に比べ、5チーム少ない男子部ですが、技量が低いわけではありません。何とか、もう少し出場チームが増える良い方法がないものか、しっかり考えていかなければなりません。指導者の世代交代が進みつつあるのも実感できた大会でした。

#### 【女子講評】

女子は優勝確実視されていた「札幌大谷」が本大会まで封印していた「札幌山の手」の速い攻撃に翻弄されて第2位に甘んじました。また、阿部監督率いる「札幌北斗」が初のベスト4に入ったことが注目されました。

また、今大会ではベスト16にとどまったものの、その粘り強さを見せつけた近藤監督の「中標津」は春高でベスト4に入る要素を垣間見せていました。更に、滝澤監督の「函館西」も選手層が厚く、修羅場を潜ってきた監督の経験が合わさって今後の活躍を期待させました。女子は世代交代と言うより、戦国状態に入りつつある状況のようです。

# 春の高校バレー

## 平成23年度 第64回全日本高等学校バレーボール選手権大会 北海道予選会

男子 参加 38チーム

- 【優勝】札幌第一
- 【ベスト4】札幌藻岩 とわの森
- 【ベスト8】啓北商業 白樺学園 釧路湖陵 札幌北
- 【ベスト16】豊富 尚志学園 札幌西 静内  
大 麻 札幌啓成 北見工業 岩緑陵
- 【2回戦】恵庭南 北海別海 網走合同  
釧路工業 深川西 旭川実業 滝川西  
苫東・南 室蘭栄 札幌拓北 紋別  
江 別 函ラ・サル 富良野 帯広工業
- 【1回戦】旭川工業 千歳名寄 函館工業  
倶知安 苫小牧工

女子参加 56チーム

- 【優勝】札幌大谷
- 【ベスト4】旭川実業 中標津
- 【ベスト8】登室大谷 札幌北斗 帯広南商 虻田
- 【ベスト16】江陵 国際情報 旭川明成 帯広大谷  
東海大四 美幌 帯広三条 釧路明輝
- 【2回戦】函館西 札幌篠路 滝川西 岩見沢農  
名寄 静内 羅臼 留萌  
北海道栄 千歳 啓北商業 江別  
岩見沢西 旭川大学 士別翔雲 苫中央
- 【1回戦】倶知安 小樽潮陵 釧路江南 稚内  
深川西 札幌東陵 美唄聖華 札幌旭丘  
遠軽 湧別 恵庭南 岩内  
芦別 北見緑陵 とわの森 えりも  
札幌真栄 富緑峰 札幌白石 網走南丘  
稚内大谷 市立函館 旭川商業 函館大妻



## 平成23年度第7回北海道高等学校バレーボール新人大会

開催地：深川市 期日：平成24年2月3日（金）～5日（日）

会場：深川市総合体育館、深川中学校、深川西高校体育館、妹背牛町総合体育館、妹背牛中学校体育館

男子 参加 29チーム

- 【優勝】とわの森
- 【準優勝】札幌藻岩
- 【3位】東海大四
- 【4位】旭川実業
- 【ベスト8】豊富、苫小牧工、尚志学園、恵庭南
- 【ベスト16】札幌第一、北海、静内、北見工業、  
函館工業、旭川工業、釧路工業、岩緑陵
- 【1回戦】滝川西、江別、倶知安、札幌月寒、根室  
深川西、遠軽、ラサル、啓北商業、斜里  
帯広工業、富良野、伊緑・伊達・室清

女子 参加 38チーム

- 【優勝】札山の手
- 【準優勝】札幌大谷
- 【3位】旭川実業
- 【4位】旭川商業
- 【ベスト8】虻田、啓北商業、恵庭南、登別室蘭大谷
- 【ベスト16】網走桂陽、深川西、釧路北陽、国際情報、  
東海大四、函館西、旭川大学、苫中央
- 【2回戦】江陵、遠軽、中標津、芦別、羅臼  
北見緑陵、富良野、札幌藻岩、美唄聖華、滝川西  
岩見沢東、留萌、倶知安、函館大妻、帯広南商、  
美幌、
- 【1回戦】えりも、札幌北斗、小樽桜陽、名寄、  
稚内、江別

男子は旭川実業・豊富・苫小牧工業が高校総体へ向け注目!!、女子は合同チーム初のベスト8入りした登別・室蘭大谷、新設校の網走桂陽が面白いかも!?

## 過去一年間の全国大会結果

◇第63回 全国高等学校総合体育大会 7月29日(金)～8月1日(月)



この「がんばろう!東北 2011 熱戦再来 北東北総体」という大会メッセージは、全国高等学校体育連盟が、「東日本大震災」の被災地の方々を始め、全国の多くの方々に北東北総体での高校生の元気なはつらつとした姿を見ていただくために、本大会のスローガンに加えて、親しみをこめて誰もが口ずさむことができる力強い言葉を作成しました。

(北東北総体HPからの抜粋)



**男 子** 【会場】秋田県横手市内の体育館 **女 子** 【会場】青森県八戸市内の体育館

**予選グループ戦**

札幌第一 2 (26-24/15-25/25-18) 1 不来方 (岩手) 札幌山の手 0 (14-25 / 19-25) 2 安田女子 (広島)  
札幌藻岩 2 (25-22 / 25-23) 0 城 東 (徳島) 札幌大谷 2 (25-19 / 25-22) 0 佐賀北 (佐賀)

**敗者復活戦**

札幌山の手 1 (26-24/19-25/19-25) 2 大阪国際滝井

**決勝トーナメント1回戦**

札幌藻岩 0 (25-27 / 25-27) 2 佐賀学園 (佐賀) 札幌大谷 0 (22-25 / 28-30) 2 山形城北 (山形)  
札幌第一 0 (21-25 / 24-26) 2 玉野光南 (岡山)

【優勝】 創造学園 (長野)	【優勝】 東九州龍谷 (大分)
【準優勝】 東 福 岡 (福岡)	【準優勝】 古川学園 (宮城)
【3 位】 星 城 (愛知) 宇部商 (山口)	【3 位】 春日部共栄 (埼玉) 市船橋 (千葉)

◇第66回国民体育大会バレーボール競技 10月7日(金)～10月10日(月)

**【男子最終成績】**

【優勝】 宇部商業 (山口)  
【準優勝】 長崎選抜  
【3 位】 福岡選抜  
【4 位】 習志野 (千葉)

**【女子最終成績】**

【優勝】 誠 英 (山口)  
【準優勝】 古川学園 (宮城)  
【3 位】 九州文化 (長崎)  
【4 位】 東九州龍谷 (大分)

会 場：山口県宇部市俵田翁記念体育館

会 場：ソルトアリーナ防府



**少年男子1回戦**

北海道選抜 2 (25-16/25-20) 0 茨城選抜

**少年男子2回戦**

北海道選抜 0 (22-25/22-25) 2 愛知選抜

**少年女子1回戦**

北海道選抜 0 (11-25/13-25) 2 下北沢成徳 (東京)

◇春の高校バレー 第64回全日本高等学校バレーボール選手権大会

期日：平成24年1月5日(水)～9日(日) 会場：東京体育館

**男子1回戦**

札幌第一 0 (18-25/19-25) 2 聖隷クリストファー (静岡)  
東海大四 0 (27-29/19-25) 2 県立伊勢崎 (群馬)

【優勝】 大村工業  
【準優勝】 創造学園  
【3 位】 東亜学園 鹿児島商業  
【ベスト8】 石川県工 宇部商業 東福岡 西 原

**女子1回戦**

札幌大谷 0 (21-25 / 22-25) 2 熊本信愛 (熊本)  
札幌山の手 1 (25-22/25-27/11-25) 2 富山第一 (富山)

【優勝】 東九州龍谷  
【準優勝】 氷 上  
【3 位】 下北沢成徳 大阪国際滝井  
【ベスト8】 盛岡女子 大和南 誠 英 九州文化

## 北海道豊富高等学校バレーボール部

北から



### 感謝の気持ちを大切に !!

北海道豊富高等学校は、昭和25年に北海道稚内高等学校豊富分校として設立し、昨年度開校60周年を迎えた歴史ある学校です。平成22年度からは「地域キャンパス校」となり、センター校である稚内高等学校より支援を受けています。現在、生徒数は87名と非常に少ないため、部活動においては部員確保が毎年の課題となっていますが、このような厳しい状況のなかにあっても、どの部活動も地道に努力を続けています。

さて、男・女バレーボール部の活動についてですが、豊富町バレーボール協会をはじめ地域の方々からの多大な協力を抜きには語れません。外部コーチの派遣やOB主体の地元クラブチームとの練習試合、他にも活動を応援してくださる皆さんに支えられて成り立っています。そのような環境の下で近年は、女子が平成17・18年度春高北北海道大会出場、平成17・21年度全道新人大会出場を果たし、男子は平成14・19年度春高北北海道大会ベスト4、平成20・21・23年度高体連ベスト8、平成19・23年度全道新人大会ベスト8入りを果たすなど着実に力をつけてきました。しかし、今年度は女子が部員不足のため単独でチームを作ることができず、同じ管内の浜頓別高校や枝幸高校と合同チームを組んで大会に出場しました。今後も地方でバレーボールの火を消さないよう、同じ悩みを抱える高校と力を合わせ乗り越えていかなければならないと考えています。

これからも、小規模校で学ぶ生徒でも目標を叶えられることを信じ、「コートの中でもコートの外でも目標とされるチーム」を目指して取り組んでいこうと思います。そして、地域の将来を担う前向きで意欲的な人間を、バレーボールを通じて育成していきたいと考えています。

最後に、この場をお借りして練習試合等でお世話になっている各校の先生方、大会を運営して下さる関係者の方々に對しまして感謝申し上げますとともに、今後も様々な面でご指導いただきますようお願いいたします。

【男子バレーボール部監督 内藤 翼】

【女子バレーボール部監督 池上 吉宗】

南から

## 北海道えりも高等学校バレーボール部



### 感謝を忘れず、自分自身を磨く

今年で創立63年を迎えるえりも高等学校は、初詣で賑わう有名なえりも岬から様似方面へ20分ほど車を走らせると、右側の高台に見えてきます。1年を通して強い風にさらされる地域で、校舎西側に風車が設置されています。昨年の東日本大震災では、えりも町沿岸に大津波警報が発令され、避難を余儀なくされた住民や家屋が被災した方々もいました。二度と同じようなことが起きないことを祈るばかりですが、昨年の震災で被災された方々には心よりお悔やみ申し上げ、一日でも早い復興を心より祈念申し上げます。

えりも高校は全校生徒126名の小規模校です。女子バレー部は、現在1年生3名、2年生6名という少人数で練習に励んでいます。私が平成21年から赴任と同時に顧問になり3年がたちます。最初は部員3名、そのうち1名は靭帯断裂でコートにたてない状態でした。2名での練習でしたが、今年度卒業した3年生3名が入部し、バレー経験者1名に手伝ってもらい高体連に出場しました。21年度は新人大会の日高予選を勝ち抜けなかったものの、選手権は日高第1代表として全道大会に出場。そこから2年間は、選手のがんばりで、全道大会に連続出場をしています。しかし、全道大会で一度も勝利を手にしていません。地区や支部を勝ち抜き、全道大会で勝利することを目標にこれからも練習に励んでいるところです。歴代の顧問の方々が築いてきたバレー部に実績を積み重ね、強いチームを育てたいと思います。

バレーボールを通じて学んだことを、社会で生かすことが大事であると考えて生徒と接しています。支えてもらっている人への感謝を忘れないことはもちろんのことですが、えりもの生徒には、日々鍛錬し、いろいろな選手、チーム、指導者に会い、技術を含め自分に足りないものを身につけ、自分自身を磨いてほしいと願っています。長距離の遠征に帯同してくれる本川教諭や合宿、遠征に理解をいただいている保護者の方々。また、応援してくれる町民やえりも高校教職員、練習試合を快諾してくれる指導者の方々のおかげでチームが支えられています。これからも生徒の成長のために微力ながら尽力したいと思います。

えりも高等学校バレーボール部監督 須田 訓仁

平成23年度 国民体育大会 バレーボール少年 北海道選抜チーム

男 子

女 子

監督 山田 和弘 (とわの森三愛高等学校)  
 コーチ 太刀川建一 (恵庭南高等学校)  
 マネージャー 藤盛 竜太 (江別高等学校)  
 サポート 新谷 富市 (札幌第一高等学校)  
 サポート 奥山 諭 (札幌新川高等学校)

監督 渡邊 徹 (札幌山の手高等学校)  
 コーチ 岡本 祐子 (旭川実業高等学校)  
 マネージャー 佐藤 和幸 (札幌国際情報高等学校)  
 サポート 西岡 哲哉 (札幌啓北商業高等学校)  
 サポート 富田 誠治 (帯広南商業高等学校)  
 サポート 平本 和久 (札幌大谷高等学校)

No	氏 名	学校名	学年	身長	出身中学	No	氏 名	学校名	学年	身長	出身中学
1	堤智 久	札幌第一	3	190	札幌星置	1	雲津 遥香	札幌山の手	3	167	白 糠
2	トイト・ケシ卓	とわの森	2	187	札幌八軒東	2	小山 綾菜	札幌山の手	2	177	札幌札苗
3	松田 晃	尚志学園	3	186	札幌石山	3	大盛 梢	札幌山の手	2	173	和 寒
4	原田 拓歩	札幌藻岩	3	185	札幌真駒内	4	豊川 侑菜	札幌山の手	2	172	留 萌
5	榎本 京祐	札幌藻岩	1	185	札幌厚別北	5	山西 真由	札幌山の手	2	171	和歌山高積
6	奥田 基嗣	札幌第一	3	185	札幌手稲東	6	宮田 成美	札幌山の手	2	164	深 川
7	二川 優	東海大四	3	182	帯広第二	7	谷越 千佳	札幌山の手	1	170	
8	浅川慎之介	札幌第一	3	180	札幌平岡	8	松田 莉子	札幌大谷	3	171	岩見沢豊
9	工藤 有真	札幌第一	3	178	札幌手稲東	9	伊藤 夢乃	札幌大谷	3	167	札幌大谷
10	小野寺勇紀	とわの森	3	174	岩見沢清園	10	三國 瑞季	札幌大谷	2	163	札幌大谷
11	白神 裕基	とわの森	3	168	江別中央	11	齋藤 葉月	旭川実業	3	175	遠 別
12	山本 智大	とわの森	2	168	恵 庭	12	岩花あさみ	札幌北斗	2	170	札幌信濃

平成23年度高等学校9ブロック長身選手発掘育成合宿

北海道ブロック合宿 個人指名選手一覧

期日：平成23年8月26日(金)～29日(日)

会場：芦別市総合体育館

《 男子の部 》

《 女子の部 》

No.	氏 名	学年	身長	学 校 名	No.	氏 名	学年	身長	学 校 名
1	末藤 裕貴	2	189	東海大四	1	加納 茉未	2	179	札幌大谷
2	橋本 諭	1	188	札幌北	2	小山 綾菜	2	177	札幌山の手
3	長谷川文也	1	188	尚志学園	3	荒川 愛梨	1	177	札幌山の手
4	木村 忠彦	2	188	札幌北	4	金内 七海	1	177	札幌山の手
5	本林 龍磨	2	187	東海大四	5	馬田よしの	2	176	旭川実業
6	金井 将則	2	187	岩見沢西	6	長谷川恭美	2	176	登別大谷
7	トイト・ケシ卓	2	187	とわの森	7	工藤 千聖	2	176	函館西
8	岡部 大樹	1	187	札幌工業	8	及川 莉奈	2	176	旭川実業
9	林 聖也	1	186	旭川実業	9	我妻 操	2	175	札幌山の手
10	豊福 幸広	2	185	尚志学園	10	牧谷 有沙	2	175	あすかぜ
11	榎本 京祐	1	185	札幌藻岩	11	野口 結喜	2	175	東海大四
12	大熊 隼	2	184	旭川東栄	12	大窪 莉叶	1	174	岩見沢西
13	木村 彰人	1	184	静 内	13	菊地 愛矢	2	174	遠 軽
14	青山 玄太	2	184	苫小牧高専	14	村木 玲菜	2	174	苫小牧中央
15	星 和希	2	184	とわの森	15	赤木 愛由	2	174	札幌北斗
16	小林 哲也	2	184	北 海	16	武利 果帆	2	173	釧路湖陵
17	石郷岡昂純	2	184	豊 富	17	水上真悠子	1	173	岩見沢西
18	石山 結丘	2	183	釧路高専	18	土田 桃子	2	173	札幌東陵
19	川村 竜慈	2	183	小樽工業	19	東出 如未	2	173	函館大妻
20	佐藤 健太	2	183	斜 里	20	福田 菜穂	1	173	札幌北斗
21	中村 純樹	2	183	札幌西陵	21	三上 祐実	2	173	札幌藻岩
22	関 巧	2	183	北 海	22	松田 樹奈	1	173	札幌藻岩
23	浦 匡宏	2	183	北 海	23	前 典江	2	173	千 歳
24	川村 将太	2	182	東海大四	24	中島 伶那	1	173	函館西
25	高田 大史	2	182	釧路工業	25	三浦 麻姫	1	173	森
26	小池 勇輝	1	182	とわの森	26	岩堀 葉月	1	172	旭川商業
27	森元 貴哉	2	182	札幌藻岩	27	三國 瑞季	2	163	札幌大谷
28	十良澤太一	2	173	尚志学園	28	成田 瑞希	2	160	帯広南商
29	神園 時	2	172	札幌藻岩	29	忠海 友美	2	156	旭川大学高
30	村本 玲	1	170	札幌藻岩	30	田中 沙耶	2	153	国際情報

◆出来田敬選手 (札幌星置中→札幌第一高校→筑波大学2年)、**念願の全日本入り**



札幌第一高校出身の出来田敬選手が念願の全日本入りを果たしました。身長199 cmの高さを買われ将来性に注目した抜擢です。なかなか12人のベンチ入りまではいかないようですが、良い経験をしているようです。本人は現在筑波大学に籍を置きながらチャレンジリーグの「つくばユナイテッド Sun GAIA」で活躍しています。(同チームには、とわの森出身のセッター矢野諒介(筑波大)も所属しています。)

◆櫻田義人監督 (東海大四高校監督) **全日本高校選抜の監督としてタイ遠征**

東海大四高校男子部監督の櫻田義人先生が日本高校選抜の監督として8月5日(金)～11日(木)にタイへ遠征してきました。結果は3勝1敗で充実したものになったようです。選手選考、事前合宿、遠征と大変ご苦労様でした。また、この男子選抜チームには札幌第一高校の堤智久選手が選ばれ、先発エースとして活躍しました。

◆エッ!! **高校総体出場枠が減る!?**

第2回の全国高校バレーボール専門部常任委員会でこういう話が出ていました。

「全国高体連(専門部の上部団体)よりインターハイ開催に際し、各競技団体へ経費削減の努力が求められている。(例えば、日程の短縮や、2代表を1代表に減らすなど)。公益財団法人化への流れもあるが、バレー専門部の歴史的な背景は大切にしていきたい。」

専門部としてはこのように主張したようですが、全国高体連が今後どのような方針を打ち出してくるか注目しておくことが肝心ですね。ちなみに現在2代表枠は北海道、埼玉、千葉、東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫、開催地区の9支部となっています。

更に、春高の2代表枠は北海道、神奈川、大阪、3代表枠が東京となっており、このバランスの悪さに不満も出てきています。北海道の代表枠の減少にしなければいけないかと危惧されています。各チームの皆さん、登録はしっかりお願いしますね。(MR S登録数と微妙に関係してきますので)

◆2012全日本ジュニアオールスタートリームマッチ東西対抗(2月25・26日)に北海道勢大活躍

この大会はかつて12月の東西対抗、3月のドリームマッチという形式で開催していましたが、春高バレーの1月開催や昨年の東日本大震災の影響で中止となり、今年からはシステム・期間・場所を変えて統一して実施することになりました。男女各4チームを作り(チーム名はSTAR、MAX、WING、OCEANの4つ)、ここに選手として選ばれるには、以下の3点のどれかに属していなければなりません。

- ① 長身者ブロック合宿推薦枠(24名) → 北海道からは2名
  - ② 選手権大会推薦枠(24名) → 春高全国選手権大会に出場したチームから選考
  - ③ 特別推薦枠(数名) → 全日本ユース、インターハイ、ブロック合宿で推薦枠以外に特に有望な選手
- 北海道のブロック合宿推薦者は次の12名です。

【男子】トイド・ケーシー卓(187 cm、とわの森、2年)、榎本京祐(185 cm、札幌藻岩、1年)、本林龍磨(187 cm、東海大四、2年)、森元貴哉(182 cm、札幌藻岩、2年)、末藤裕貴(189 cm、東海大四、2年)、林聖也(186 cm、旭川実業、1年)、

【女子】加納茉未(179 cm、札幌大谷、2年)、小山綾菜(177 cm、札幌山の手、2年)、及川莉奈(176 cm、旭川実業、2年)、中島伶那(173 cm、函館西、1年)、水上真悠子(173 cm、岩見沢西、1年)、村木玲菜(174 cm、苫小牧中央、2年)

以上の選手は3月25日～30日の**全国選抜強化合宿**(大阪、舞洲アリーナ)へ推薦されているわけですが、その前に東西対抗戦の選手として数名が選ばれています。男子はトイド・ケーシー卓、榎本京祐の2名、女子は加納茉未、小山綾菜の2名です。(トイドはMAX STARチーム、榎本はOCEANチーム、加納・小山は女子のOCEANチームに所属)

さらに今回は、男子のSTARチームのコーチとして太刀川建一(恵庭南男子部監督)、OCEANチームの監

督として櫻田義人(東海大四男子部監督)の両先生がスタッフとして参加するために選ばれました。道内勢の活躍は・・・

→ 結果の詳細については全国高体連バレーボール専門部のホームページをご覧ください。

## ◆今年度でコーチングキャラバン終了しました。

11年間続いた春高バレーコーチングキャラバンが今年度で終了しました。この企画はフジTVが企画主体となり、日本協会、高体連専門部と連携し、チーム強化と夢作りを目的でスタートしました。本道でも、多くのチームがお世話になったり、対象校でなくても影響を受けたりしたと思います。高校バレーの目玉の一つが無くなるのは寂しい限りですが、また新しいものがうまれてくることに期待したいものですね。

## ◆帯広地区で開かれた横田杯に注目

昨年9月17日(土)18日(日)19日(月)に中札内交流の杜を主会場として第二回横田杯高校男子バレーボール選手権大会が開催されました。横田杯の「横田」とはかつての全日本男子バレーボール金メダリストの横田忠義さんの名前を戴いたものです。横田さんは奥様の関係で北海道が気に入り、旭川にお暮らしなのですが、何とか北海道のバレーを強くする手助けをしたいという思いで帯広の監督さん達との交流の中でこの大会を開催する運びにしました。女子の大会もあるのですが、2日目の夜には選手達を集め、金メダルを取るまでの苦しかった話などもして下さいました。頑張る気持ちを大切にされた横田さんの思いが伝わってきました。



(写真中央の人が横田氏)

### ※横田忠義さん

19歳で全日本入り、1968メキシコ五輪銀メダリスト、1972ミュンヘン五輪金メダリスト。大古誠司、森田淳悟とともにビッグスリーの一角を担う。NEC監督を経て1994全日本女子監督を務める。長男の一義さんは現在堺ブレイザーズで活躍中。旭川市在住。(同大会大会要項からの抜粋)

### 要注意!!

新年度からリベロルール的大幅な変更があります。現在の「高体連リベロルール」から一般のリベロルールにスライドしていくわけですが、それでも若干違う所もあるようです。詳細は各地区・支部で伝達があるはずですし、HPにも掲載していますので、確認しておいて下さい。



特 集  
全国大会

今回は、北海道の高校が全国大会でどのように活躍してきたかを特集します。1年かけて、全国大会の記録をまとめあげてきてようやく一定の資料ができあがりました。ページ数にするとかなり省略しても6頁及ぶため、その内の2項目だけ掲載しました。そのため、今回はランキングを省略しました。ランキング表については専門部ホームページに最新版を掲載しておきますのでそちらでご確認下さい。また、今回の全国大会の記録で、間違いや不明な点のご指摘がありましたら、是非ご連絡下さい。よろしくお願いいたします。

北海道チームの全国大会出場回数一覧

【男子】

チーム名	函館北	函館東	木古内	小樽潮陵	室清水丘	札幌北	札幌藻岩	札幌南	恵庭南	東海大四	札幌第一	とわの森
出場合計	1	2	1	3	1	5	4	4	2	102	26	10
高校総体	1	2	1	2	1	4	4	1	1	37	18	6
国 体				1		1		3	1	30		
選手権仮										2	1	1
選 抜										33	7	3
選手権実	1	2	1	2	1	4	2	1	1	39	18	6
チーム名	夕張	夕張東	夕張北	岩見沢東	岩見沢農	美唄工業	旭川西	旭川北	旭川東	旭川工業	旭川商業	留 萌
出場合計	1	2	2	6	2	9	9	2	6	1	3	1
高校総体	1	1	1	2	2	6	5	1	3		2	
国 体		1	1	4		3	2		1		1	
選手権仮												
選 抜							2	1	2	1		1
選手権実	1	1	1	2	2	6	5	1	3		2	
チーム名	網走南丘	網走向陽	北見緑陵	帯広農業	帯広工業	帯広三条	帯広柏葉	白樺学園	釧路湖陵	釧路工業		
出場合計	5	1	2	6	1	1	2	9	3	26		
高校総体	3	1					2	1	1	11		
国 体	1					1			1	5		
選手権仮												
選 抜	1		2	6	1			8	1	10		
選手権実	3	1					2	1	1	11		

【女子】

チーム名	函館商業	八 雲	小樽双葉	登別大谷	苫小牧東	苫小牧西	苫小牧中央	札幌北	札幌東	札山の手	札幌大谷	札幌東陵
出場合計	1	1	1	14	1	3	3	8	2	23	23	1
高校総体	1			5	1	3	1	3	1	8	10	
国 体		1	1					5	1		1	
選手権仮										1	2	
選 抜				9			2			14	10	1
選手権実	1			5	1	3	1	3	1	8	10	
チーム名	岩見沢西	岩見沢東	三 笠	砂川南	芦 別	芦別商業	妹背牛商	旭川西	旭川商業	旭川実業	網走南丘	斜 里
出場合計	3	4	1	1	3	1	42	6	2	65	2	29
高校総体	3	2	1	1	1	1	22	4	2	23	2	13
国 体		2			2		9	2		19		12
選手権仮												
選 抜							11			23		4
選手権実	3	2	1	1	1	1	22	4	2	23	2	13
チーム名	帯広三条	帯広南商	釧路商業	釧路星園	白 糠							
出場合計	1	8	4	2	5							
高校総体	1	4	3	1	4							
国 体			1	1								
選手権仮		1										
選 抜		3			1							
選手権実	1	4	3	1	4							

注意 1、第 1 回～62 回の高校総体と選手権は重複しているため、選手権の出場回数（「選手権実」）をカウントしないで計算する。

注意 2、「選手権仮」とは選手権が高校総体から分離して春高扱いになった 2011 年からの合計。

# 全国大会出場監督一覧

(北海道選抜監督は回数に入れない)

2012年1月の春高選手権大会まで

監督名	回数	出場チーム名
櫻田 義人	60	東海大四 (男子) 全国優勝5回準優勝5回
石田 時郎	42	東海大四 (男子) 全国優勝3回準優勝1回
吉野 勲	35	妹背牛商 (女子) 全国優勝1回準優勝3回
一柳 昇	28	旭川実業 (女子) 全国優勝1回準優勝5回
入澤 秀寛	27	旭川実業 (女子)
掛屋 忠義	25	旭川実業、札幌大谷 (女子)
新谷 富市	18	札幌第一 (男子)
近藤 静人	16	旭川西、斜里 (女子)
川村 博美	14	登別大谷 (女子)
白井 誠	14	札幌香蘭、札幌山の手 (女子)
逢坂 生来	12	斜里 (女子)
佐田喜四男	12	釧路工業 (男子)
山田 和弘	10	とわの森三愛 (男子)
松田 一夫	10	釧路工業 (男子)
中村 康弘	9	白樺学園 (男子)
富田 誠治	8	帯広南商業 (女子)
小林 俊昭	8	札幌第一 (男子)
和田 肇	8	函館商業、斜里 (女子)
中村 哲郎	8	美唄工業 (男子)
佐々 三男	6	札幌北 (男女)
平間 慶一	6	帯広農業 (男子)
細川 善彦	6	妹背牛商 (女子)
平本 和久	6	妹背牛商、札幌大谷 (女子)
渡邊 徹	5	札幌山の手 (女子)
蛭谷 春雄	5	岩見沢東 (男子)
斉藤 三雄	5	白糠 (女子)
秋永 智徳	4	網走南ヶ丘 (男女)
伊藤 健	4	岩見沢東 (女子)
桑谷 秀芳	4	旭川西 (男子)
小沼 源雄	4	旭川東 (男子)
阪本 肇	4	札幌山の手 (女子)
新山 勉	4	釧路商業 (女子)
稲飯 満紀	3	釧路工業 (男子)
池田 利勝	3	小樽、小樽潮陵 (男子)
今 裕	3	旭川西 (男子)
鈴木 孝明	3	札幌藻岩 (男子)
谷本 鐵也	3	芦別 (女子)
出倉 諭	3	旭川実業 (女子)
原 正夫	3	苫小牧中央 (女子)
久原 健	3	苫小牧西 (女子)
吉田 敏雄	3	札幌北 (男子)

監督名	回数	出場チーム名
内田 正博	2	庁札幌一中 (男子) 全国準優勝1回
郷守 重蔵	2	庁札幌高女 (女子)
佐藤 典靖	2	釧路星園 (女子)
中谷 正一	2	夕張北 (男子)
西村 清司	2	旭川北、釧路湖陵 (男子)
花田 徹夫	2	岩見沢農業 (男子)
林 隆志	2	北見緑陵 (男子)
藤原 正	2	恵庭南 (男子)
松本 秀樹	2	旭川商業 (女子)
山本 隆治	2	函館東 (男子)
相澤 郁夫	1	札幌東陵 (女子)
浅野 隆	1	旭川西 (男子)
阿部 浩羊	1	札幌南 (男子)
安藤 善助	1	帯広柏葉 (男子)
井上 正道	1	網走南ヶ丘 (男子)
上坂 茂	1	札幌藻岩 (男子)
大野 昭雄	1	三笠 (女子)
大森 茂治	1	帯広柏葉 (男子)
小笠原忠雄	1	夕張 (男子)
小川 幸一	1	八雲 (女子)
小野寿満男	1	市札幌女子 (女子)
川合 賢城	1	岩見沢西 (女子)
黒瀬 信吉	1	旭川西 (男子)
後藤 忠範	1	帯広工業 (男子)
笹森 茂	1	道札幌第一 (男子)
佐藤 恭一	1	札幌東 (女子)
佐藤 光義	1	室蘭清水ヶ丘 (男子)
白幡 正	1	砂川南 (女子)
高橋 健二	1	網走南ヶ丘 (女子)
高橋健太郎	1	網走南ヶ丘 (男子)
田辺 二夫	1	芦別商業 (女子)
辻 孝平	1	旭川北 (男子)
辻 初男	1	苫小牧東 (女子)
浪岡 義雄	1	釧路湖陵 (男子)
成田 裕保	1	旭川東 (男子)
橋本 清生	1	旭川工業 (男子)
平沖 勝雄	1	留萌 (男子)
前多 正彦	1	函館北 (男子)
松井 恵一	1	旭川東 (男子)
山本 雅敏	1	小樽双葉 (女子)
米内 顕一	1	釧路工業 (男子)
若林 正	1	木古内 (男子)

※庁札幌第一中・道札幌第一高は現在の札幌南高、庁札幌高女・道札幌女子は現在の札幌北高、市札幌女・市札幌第一高は現在の札幌東高